

洛 友 会 役 員

松奥石神木芝大中岡近池大皆和松池大近
本村川戸村山家島 藤内野川田波上嶋藤
浩順俊磐龍 恭範耕浩 長昌弘文幸文
博士十三夫根一寛一彦三一彰也美之夫一治

京都大学工学部電気系教室内
洛友会
〒606-8202
京都市左京区田中大堰町49
075-701-3210



活躍がありました。また10月には小柴昌俊東大名誉教授が2002年度ノーベル物理学賞を、そして田中耕一島津製作所フェローが化学会賞を、二人が同時に授賞されました。日本人と言う快挙がありました。日本人二人の同時授賞は勿論初めてで、慶ばしい限りであります。小柴教授は、地球をも貫くと言われ

さて人間の身体は蛋白質で構成されていますが、蛋白質の各分子は、それぞれ質量が異なる20種類のアミノ酸の適当な組合せからなり、組合せの違いによつて蛋白分子の質量が異なります。通常、蛋白質は質量の異なる種々の蛋白分子が多数塊になつてゐます。この塊を单一の分子に分解し、その質

明けましておめでとうございま
す。年頭に当たり会員各位とご家
族の皆様方のご多幸とご健勝を心
からお祈り申し上げます。

さて21世紀初頭の過去2年間
は、平和で活気ある世紀の幕明けは
にふさわしい年であることを期待
していたのですが、現実は我々の
願いとは裏腹に、国内的には、経
済界は不況に苦しみ、リストラに
よる失業者は増え、遂に7%近く
に達するという最近では最悪の状
態に追い込まれました。不況克服
の起死回生の妙薬とされている構
造改革は期待通りには進展せず、
今後の経済見透しは低迷を続けて

口撲滅戦争の支援 北朝鮮工作船
（？）との交戦・撃沈など、血生
臭い事件が続発しました。加えて
北朝鮮拉致事件が明るみに出るな
ど暗いニュースが新聞紙面を賑わ
した一年でした。

しかし暗いニュースばかりでな
く、昨年夏前のワールドカップ・
サッカーにおける日本チームの大

れを支援する基盤技術として蛋白質の分析が欠かせません。ところがこれまで有効な分析手段がなかったところへ、田中フエローによつて独創的な分析法が世界で初めて開発され、簡単で精度の高い分析手段ができたのです。その業績は世界の関係者に高く評価され、今回の受賞となつた次第です。

頭 雜 感

(ノーベル賞と平均寿命)



る素粒子ニュートリノを、世界で初めて実験的に捕捉した業績による授賞で、授賞はある程度予想されていましたが、田中耕一フエローの場合は、ご本人さえ予想していなかつた突然の授賞で、ニューバリューは大変なものでした。

量を測定することによって蛋白質の性質を知ることができます。

田中フエローの研究の前にも、レーザ光線を当てて分解する方法が種々試みられましたが、蛋白分子自身も分解され、どうしても全く偶然でしたが、コバルト微粒子をグリセリンと一緒にして蛋白質に混ぜ、これにレーザ光線を短時間照射すると、コバルト粒子が加熱され資料の表面部分が気化されて、見事に蛋白分子を壊さないで塊を分子状態に分解し、しかも蛋白分子をイオン化できることを発見したのです。イオンを電界で加速すると、質量の軽い分子は速く電極に到達し、重い分子は遅れて到達します。到達時間を測定すれば、どんな質量の蛋白分子が含まれているかが判り、蛋白質の性質を知ることができます。

田中フエローの受賞は世間では唐突だっただけに、連日新聞紙上を賑わし、開発の過程における偶然性や、従来の受賞者とは異なる飾り気のない発言や天真爛漫な性格など、その意外性が大きく報道され注目を浴びました。しかし島津製作所は、明治8年初代島津源蔵氏によって創業され、有名な大發明家2代目源蔵氏を経て今日に至るまで百数十年間、理化学機

械や科学計測器を中心の一貫し

ます。

ところが最近、人間の生命の根源に関係する学問に從来想像もしなかった画期的な進歩がみられた。

田中フエローのノーベル賞受賞は、瓢箪から駒が出たのではなく、

同社の過去の長い歴史がノーベル賞受賞という輝かしい栄誉をもたらしたのであって、決して謂れのないことではないと思います。

次にいま一つの明るいニュースとして、昨年発表された厚生労働省の「2001年の簡易生命表」によれば、日本人男性の平均寿命は78.01歳となり、世界一になつたことがあります。女性は84.93歳になりましたが、従来から世界一を誇つていますので、日本は男女共々世界一の長寿国になつた訳です。

さて平均寿命は伸びていますが、人間は果して最高何歳まで命を保つことが出来るのでしょうか。い

ままでの長寿の世界記録は122歳で、フランスのアルルの住人ジャンヌ・カルマンさんという女性だそ

うです。世界記録だからもつと長生きかと思つていたのですが、私は意外に短いと思われるのです。皆様は如何感じられますか。

昔、三藏法師が孫悟空などの家来を引き連れて、不老不死の妙薬を求めて天竺を駆け巡った西遊記の話は、話自身はフィクションであつても、長寿を願う気持ちは今も変わらぬ人間共通の願望であり

もありました。その代表的なものは、遺伝子DNAに関する成果

もあり、ヒトの遺伝子情報の解読もほぼ終わり、そのデータベース化が着々進んでいます。これを利

用する医療技術や製薬技術の括目すべき進歩は、不老不死の薬をフ

ィクションだと笑い飛ばせないよ

うな状態を作り出しつつあります。

上述の人間の平均寿命が将来も延びるであろうことは、統計資料からも容易に期待できますが、最

高長寿記録はどうなるのか。ヒトの場合実験は不可能ですが、他の動物（線虫）についての実験によれば、平均寿命が伸びると、最高結果です。ヒトの場合もそうだと

きました。常識的にも首肯できる結果です。ヒトの場合もそうだとすれば、現在の122歳の記録が破られる日はそう遠くない筈です。現

在死亡率第3位の癌にしても、克服できる日が近づきつつあります

し、その他のいくつかの難病についても同様です。また再生医学の

分野では、人間の老廃器官を新品と交換することとの可能性が真剣に研究されています。不老不死のための技術やお薬など、お膳立ては揃いつつあります。平均寿命や最

高長寿記録はどこまで伸びるのか。最近ある科学誌に人類200歳時代という特集記事が載っていました。200歳というものは誇張があるにしても、最高長寿記録150歳の夢はそう遠くないかも知れません。

しかし最近、科学技術の進歩を手放しで喜べないショッキングなニュースがありました。昨年12月上旬、イタリヤのある医師がクロ

ニユースがありました。今年2月頃誕生見込みだと報道されたのです。コピー人間の誕生です。これが事実だとすれば、我々はこれをどう受け止めればよいのでしょうか。学問の発展に名を借り、人間の尊厳を根底から否定する行為だと言わざるを得ません。

21世紀の科学技術の進展は急速です。それに携わる研究者はしっかりと倫理観を持ち、科学技術が真に人間の幸福に役立つよう心得るべきです。最後に21世紀が平和で幸多き世紀になることを祈つて年頭の挨拶と致します。

迎 春

二〇〇三年一月一日

京都 大学

電 気 関 係 教 室
教 官 一 同

フジテック株式会社
取締役会長 大谷 謙治

松下電器産業
株式会社

電気系教室懇話会報告
教室だより

平成14年度電気系教室懇話会が
10月18日(金)に行われました。

本年も第一部の講演と第二部の懇親会の二部形式で実施され、第一部の講演会では3人の講演者をお

日新電機株式会社

相談役 安井 貞三



招きし、最近のアカデミックな話題から政治・経済の話題まで幅広いお話を御講演頂きました。はじめに、野田電子物性工学科長の司会のもと、奥村電気電子工学科長の挨拶がありました。まず、トップ30という名前で話題になりました。現在は21世紀COE(Center Of Excellence)という名称で選考された。世界をリードする研究拠点を分野ごとに国内大学に30程度選定するというプログラムに、電子工学科関連の大学院専攻科が選定されたことが報告されました。特に21世紀COEプログラムは若手の育成に重点が置かれており、経済支援を含む育成策が盛り込まれていることが説明され、電気系教室懇話会もこのような主旨に沿った活動であることから、若い現役学生に大いに活用して欲しいとのお話をありました。

また、このようなプログラムに採択されたことは、同窓会会員の御支援と活躍のおかげである旨感謝の意が表されました。

最初の御講演は、佐々木昭夫先生(昭和30年卒・名誉教授・大阪電気通信大学教授)により、「ト

ランジスタの限界と量子効果半導体」という題目で一時間余りお話を頂きました。佐々木先生は半導工学科長の挨拶がありました。まづ、トップ30という名前で話題になりました。現在は21世紀COE(Center Of Excellence)という名称で選考された。世界をリードする研究拠点を分野ごとに国内大学に30程度選定するというプログラムに、電子工学科関連の大学院専攻科が選定されたことが報告されました。特に21世紀COEプログラムは若手の育成に重点が置かれており、経済支援を含む育成策が盛り込まれていることが説明され、電気系教室懇話会もこのような主旨に沿った活動であることから、若い現役学生に大いに活用して欲しいとのお話をありました。

このあとFET、MOSFETへと発展していく様子が説明されました。しかし、現在の状況でこれらのデバイスには様々な限界があることが説明されました。まず、半導体デバイスが、素子の微細化によって全般的的な性能限界が近付つつある状況が説明されました。はじめに動作限界に関する問題として、半導体プロセスが次々に微細化されていき、最近のマイクロプロセッサでは0.9μmまでたどり着いており、微細化による半導体性能の低下があることが説明されました。現在のところ、最終的に10nm程度まで微細化されると予想されているとのことで、この場合、統計的なばらつきや量子的な効果が大きくなることが説明されました。このような限界に対しても量子効果を積極的に用いたり、トンネルデバイスなどの新しい可能性が検討されているとのことでした。また、微細化が進むと微細加工技術が必要になり、将来的には作成限界が訪れることがあるとい

う状況も説明されました。さらに、大きな問題として、プロセスが微細化することにより製造コストが増大することから、いざれ経済性が問われるようになります。多くの写真を交えながら御紹介されました。具体的には、そろばん、タブレットに始まり、真空管、トランジスタへとデバイスが変化していった様子が説明され、特に若い学生諸君は熱心に聞き入っていました。

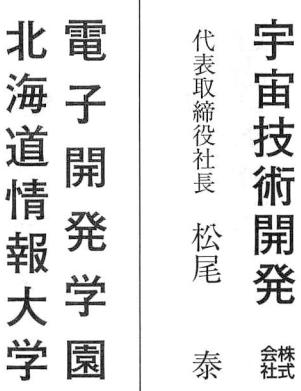
このあとFET、MOSFETへと発展していく様子が説明されました。しかし、現在の状況でこれらのデバイスには様々な限界があることが説明されました。まず、半導体デバイスが、素子の微細化によって全般的的な性能限界が近付つつある状況が説明されました。はじめに動作限界に関する問題として、半導体プロセスが次々に微細化されていき、最近のマイクロプロセッサでは0.9μmまでたどり着いており、微細化による半導体性能の低下があることが説明されました。現在のところ、最終的に10nm程度まで微細化されると予想されているとのことで、この場合、統計的なばらつきや量子的な効果が大きくなることが説明されました。このような限界に対しても量子効果を積極的に用いたり、トンネルデバイスなどの新しい可能性が検討されているとのことでした。また、微細化が進むと微細加工技術が必要になり、将来的には作成限界が訪れることがあるとい

う状況も説明されました。さらに、大きな問題として、プロセスが微細化することにより製造コストが増大することから、いざれ経済性が問われるようになります。多くの写真を交えながら御紹介されました。具体的には、そろばん、タブレットに始まり、真空管、トランジスタへとデバイスが変化していった様子が説明され、特に若い学生諸君は熱心に聞き入っていました。

このようなことから、現在のところ大きなブレークスルーがなければ近い将来なんらかの限界が訪れるわけですが、日々技術革新が行なわれてきただと説明がありました。

具体的には、まずTRMM計画の紹介がありました。これは日本で分担して衛星による観測を補完しある計画で、エルニーニョによる降雨の様子や台風降雨の立体構造などを観測することが出来、大きな成果をあげたとのことです。次に、次期TRMM計画であるGPM計画の紹介がありました。これは地球を周回する8個の衛星によつて観測網を実現するもので、この計画には大きな運用費用がかかるため、国際的な調整委員会であるCEO-Sが組織されたということです。また、IGOS-I-Pという地球観測戦略パートナーシップという、より大きな国際協力組織もあり、CEO-Sもこの一部として活動しているという説明がありました。

古濱氏のお話は非常にスケールの大きな話であり、講演会に参加した学生も熱心に聞き入っていました。また、質疑でも現在地球を周回している衛星の個数に関する質問などがあり、普段聞くことができない分野の話に興味深く耳を

 株式会社 村田製作所 代表取締役社長 村田 泰隆	 北海道情報大学 高周波熱鍊 株式会社 理事長 松尾 泰	 株式会社 代表取締役社長 松尾 泰
---	---	---

迎
春

二〇〇三年一月一日

傾けていました。

最後に、オムロン株式会社副社長である市原達郎氏（昭和42年卒）により「21世紀、日本の製造業の生き残りを賭けて——オムロンにおけるケース・スタディ——」という題目で御講演頂きました。

はじめに日本企業が置かれていた現状を、1990年までの日本は個別技術の最適化が成功し世界のトップとなつたが、続く10年間は個別最適から全体最適へ流れが変化する中で遅れを取つたと分析されました。このような状況で、これから時代は個々の工夫が大ききなインパクトを与える10年間になると位置付けられました。

これまでに市原氏が見てこられた優秀な企業に共通する要素として、次の3つの点を挙げられました。一つは、「明確なゴール」を持つこと、また「変化に対する柔軟性」があること、さらに「ビジョンのレベルと遂行能力」が

あること、とのことでした。これらの条件は、からの時代を生き抜いていく企業には大切な条件であるとのことで、聴衆には、現役の学生も多いことから、就職先に注意して企業を選ぶことが大事であるとアドバイスされました。

また、80年代90年代がそれぞれマイクロプロセッサ、光技術の発展による10年であったのに対し、2000年代はセンサーの時代であるという予測を話され、これをサポートする識者による図なども紹介されました。そこで、氏の会社では、ベンチャ企業への再挑戦として、ベンチャ企業の良さに取り組んでいる状況を説明されました。具体的には、情報公開に力を入れているとのことで、研究所で行っている活動を全て公開することで、ユーザからの親しみやすさや安心感が増えること、見られることによる自浄作用があることな

ど様々な効果が得られるなどを強調していました。

最後に、市原氏自身が取り組んで行きたいこととして、協創による新たな企业文化の構築に関してお話をされました。現在のアメリカを中心とする競争主義企业文化は、ただ一人の勝者を作り出す文化ですが、本来日本が持っていた共存共榮による企业文化も大切なのではないかと考えておられるということでした。このことを広めるということで、「和」の精神の輸出を行いたいと今後の抱負を話されていました。

市原氏のお話、いわゆる技術的な話とは少し違うもので、大学関係者や学生たちにとっても非常に興味深い話だったようで、皆さん熱心にお話を聞かれていました。

松波弘之教授退官記念最終講義の「」案内

松波弘之教授におかれましては、来る平成15年3月31日付で、停年退官されることになりました。左記の通り松波先生の退官最終記念講義を開催致しますので、ご案内申し上げます。

日 時	平成15年3月3日(月)	午後1時30分から午後3時
場 所	電気総合館大講義室	
題 目	半導体研究とシリコンカーバイドワールドの夢	
連絡先	京都大学工学研究科電子物性工学専攻 木本恒暢 TEL 075-753-5341	
kimoto@kuee.kyoto-u.ac.jp		

じめ、御参加頂いた卒業生の方々、教職員および学生の皆様に厚くお礼申し上げます。来年度懇話会もよろしくお願い致します。

天野晃（昭63年卒）記
二〇〇三年一月一日

卒業生各位様

記念誌の頒布について

平成15年を期して、京都大学電気系教室（電気、電子物性専攻）

は桂キャンパスへの移転が計画さ

れ、予定が着々と進んでおります。

新キャンパス移転後は、教室内事務も大きく変革するよう聞いております。

さて、平成10年9月に、電気系教室創立100周年を記念して刊行されました「電気系教室百周年記念誌」

(A4版、370ページ)につきましては、記念行事支援のためにご寄付いただきました方々、ならびに執筆して下さいました方々に、平成10年秋に送付させていただきました。

このたび、教室移転に際しまして、手元に残っております分を卒業生の方々でご希望の方にお頒けさせていただくことになりました。下記宛にお申し込みいただければ、郵便料￥1,000にて送らせていただきますので、ご案内申し上げます。

財団法人
株式会社 日本電池
（株）近畿地方発明センター
理事長 近藤文治



迎春

二〇〇三年一月一日

(株)田中プリント

財団法人
応用科学研究所

記下さつて郵便にてお申し込み下

郵便番号、ご住所、ご氏名を明



故 松谷健一郎氏

(なお、事務的手続きを上、
平成15年3月10日で締め切らせて
いただきます。)

編集幹事代表 松波 弘之

(昭37年卒) 記

606
8501
京都府京都市左京区吉田本
京都大学工学研究科
電子物性工学専攻
松波 弘之

会員寄稿

松谷先輩を悼む

巨星落つ。我々の敬愛する大先輩、松谷健一郎氏（昭和16年12月京都帝国大学電気工学科卒）は去る10月23日、卒然として急逝されました。広島のみならず周辺の洛友会会員一同並びに先輩を知る方々は突然の訃報に接し俄には信じ難く、暫時の後、驚きと悲しみに包まれた次第です。享年84歳。

ぬ元気さで出社され、昼食を兼ねた経済懇話会にも出席し談笑されました。夕刻帰宅され、くつろがれて間もなく突然心臓発作に襲われ、そのまま不帰の客となられました。

最近も極めてお元気であり、時々時代を見通すようなお話を聴いていた私、いや先輩に関係ある方々全てにとって、この不況、苦難の時代に大所高所から更なるご指導をいただきたいと思つて、矢先、誠に残念、痛恨の極みであります。少なくとも広島、中国地方にとつてかけがえのない損失であります。豪放磊落、84年を文字通り豪快に生き抜いてこられた先輩は最後もまた豪快であつたと思います。

松谷先輩は旧制広島高等学校を経て京大電気工学科を卒業、直ちに海軍技術将校として従軍、第2次世界大戦の最後は南海の最激戦地ニュー・ブリテン島ラバウルで迎えられました。後年、一杯入ると愉快な話の中で、苦労されたラバウルでの経験にも拘わらず、面白い語り口で話されていました。

84年を文字通り豪快に生き抜いて
こられた先輩は最後もまた豪快で
あつたと思います。

松谷先輩は旧制広島高等学校を
経て京大電気工学科を卒業、直ち
に海軍技術将校として従軍、第2
次世界大戦の最後は南海の最激戦地
ニユーブリテン島ラバウルで迎
えられました。後年、一杯入るとい
う愉快な話の中で、苦労されたラバ
ウルでの経験にも拘わらず、面白
い語り口で話されていました。

戦後、昭和21年中国配電（中国
電力に引き継ぎ）に入社、発送変
電部門、企画部門を中心に歩んで
これら、昭和56年に社長に就任。
二度のオイルショックにより日本

の高度成長も転換期を迎えるなかで、在任中は電源多様化に努力され、島根原子力発電所2号機、柳井LNG火力発電所の建設、石油火力の石炭転換など石油依存度の低減を推進されました。発電所と送電線の建設は10～20年の長期間と多額の建設費を要するものであり、それをタイムリーに計画、実行することはまことに難しいことです。私もしばらく企画部門で一緒にさせて戴きましたが、あらゆる角度から検討されベストの決断に腐心されていた様子が昨日のように思い出されます。

社会、経済状勢が厳しくなり電力も多難の時代を迎えるようになりましたが、常に大局的な見地から先見生をもつて全社をリードしてこられました。早くから中国電力環境基準を策定し、原価低減推進本部を設置し経営全般にわたらん効率化、活性化に取り組まれましたが、今日のニーズを先取りされたものです。

この忙しさの中、昭和59年から平成11年まで洛友会中国支部長として会員一同大変お世話になつたわけです。心から感謝申し上げる次第です。

また財界活動にも積極的に取り組みました。昭和62年から8年間中国経済連合会会长として、中

国地方のリーダーとして活躍され、経済発展に向けた中国地方の長期ビジョン策定や交通基盤整備の促進など地域振興に尽力されました。このように見事な指導力を發揮されましたが、実は行き届いた配慮、人情味に溢れ、率直で公平さを尊重される方でした。社長就任当時、他社の原発事故に際して職員に、技術屋としては大した事故ではないと考えたのだろうが社会に与える影響に配慮が足りなかつた。島根原発では些細なトラブルでもすぐ報告せよと指示されています。

また技術屋としての率直さから原発は安全とだけ主張するのではなく、人間が設計、製作した機械だから細部には不具合が生じることもある。だから細心の点検と幾重もの安全対策が講じてあるとの論理で反対派にも対応してこられました。最近原発トラブルを見るにつけ見事な警句であります。

これに止まらず率直な見解をよく述べられるので、東京の電気事業連合会での松谷社長の記者会見は、今日こそ面白い話が聞けると期待する記者で広い会見室が毎度満員となり、同席していた私は冷や汗ものでした。

趣は変わりますが、皆さん御存じの宮島・厳島神社（現在は世界文化遺産）は平成3年9月の台風

(当時中国電力会長)は中国地方経済界、地域社会のリーダーとして、郷土の誇りを荒れたまま放置できないとし、災害復旧事業奉賛会を設立、自ら会長に就任し先頭に立つて募金活動に奔走されました。折しも厳しい経済状態と重なり、募金活動は難航しましたが地元のみならず中央財界にも呼びかけ、熱意と行動力により目標を上回る募金を達成し、見事に復興を成し遂げられました。この一事からもわかるように松谷先輩はこよなく地元を愛された方でした。

この20数年、全国的に寮歌祭が各地で催され、当地広島でも盛大に開催されました。松谷先輩は元々相當にシャイな方でしたが、寮歌祭には毎回羽織り袴に広高の法被を纏い白線帽をかぶり中央にでんと構え、寮歌祭を盛り上げるとともに自らも楽しんでおられました。この広島寮歌祭も昨年25周年で幕引きとなりましたが、その最後を見届けて亡くなられたわけです。

松谷先輩は、闊達で自主自立、高き理想を追い求めると共に茶目つ氣を忘れない旧制高等学校の気風を最後まで持ち続けてこられたと思います。

あの明るい呵々大笑がもう聞かれないのは本当に寂しい限りです。我々後輩はこの悲しみを乗り越えて、色々の教訓を胸に、社会経済の発展に取り組んでゆくべく心を新たに思っています。心からご冥福をお祈りします。

(中国支部長)

松谷健一郎君を悼む

西村正太郎(昭16年12卒)

昨年の秋、中国電力で活躍した松谷健一郎君が亡くなつた。

おめでたい新年号の会報に、追悼文というのは少し気になるが、洛友会の中国支部長や洛友会顧問を歴任にした松谷兄である。お許しいただきたい。

ここにまた敬愛する旧友を失い、同期のひとりとして、哀惜の念に耐えず、改めてご冥福を祈り、遅ればせながら、泰子夫人はじめご遺族の皆さんに、心からお悔やみ申し上げたい。

最後に彼に(と呼ばせていただ

く)に出会ったのは、平成9年1月。奇しくも、同期でやはり中国電力で活躍した井上武君の告別式の日だった。井上君が箕面に引っ越していたので、式場は北大阪桃山台の千里会館。広島から駆けつけた彼との慌ただしい再会だった。

根が豪放磊落。信念と率先垂範、

あれからもう5年。いまさらのよう日に頃のご無沙汰が悔やまれる。先頃、風の便りに体調を崩して療養中とのことで気にはなつたが、もともと頑健な彼。まさかこんな別れになるとは思つてもいたが、そんな危機にも豪快に乗りかつた。

われわれが卒業したのは昭和16年。それも戦争が始まつた12月。

繰り上げ卒業だつた。古い話で記憶も定かではないが、彼の就職先是たしか東芝。入社して間もなく、

彼も南方へ出撃したようだが、海軍に入隊して佐世保に赴いた。

軍大尉として復員したが、敗戦の打撃はさすがの彼もこたえたようだ。郷里広島に帰り、東芝を辞し

て、地元の中国電力(当時中国配電)に入社。そして、これが戦後の復興と同社の発展に、彼が大きな足跡を残す契機となつた。

われわれの在学中といえば、支那事変が膠着し、歐米の圧力がひしと感じられた頃だが、学生

ここにまた敬愛する旧友を失い、同期のひとりとして、哀惜の念に耐えず、改めてご冥福を祈り、遅ればせながら、泰子夫人はじめご遺族の皆さんに、心からお悔やみ申し上げたい。

最後に彼に(と呼ばせていただ

く)に出会ったのは、平成9年1月。奇しくも、同期でやはり中国電力で活躍した井上武君の告別式の日だった。井上君が箕面に引っ越していたので、式場は北大阪桃山台の千里会館。広島から駆けつけた彼との慌ただしい再会だった。

根が豪放磊落。信念と率先垂範、

巧まぬユーモアも彼の魅力だつた。彼の述懐によると、工場部長の頃は世の中高度成長で、電力供給も夏場のピーク時には不足がちだつたが、そんな危機にも豪快に乗り越えたという。その後、総合企画室、電力開発推進本部などを担当し、原発の導入や重油依存の見直しなど、電力の安定供給に力を注ぎ、同社の発展の基礎を固めた。

つづいて中国電力社長、会長と重責を担う傍ら、電事連の副会長、西地域電力協議会議長をはじめ、経団連の常任理事、中国経済連合会会長などの要職を勤め、電力ばかりでなく経済界のリーダーとして、わが国の産業経済に大きく貢献したのも、肯べなるかなである。

かりでなく経済界のリーダーとして、わが国の産業経済に大きく貢献したのも、肯べなるかなである。

多忙な中をさいて出席してくれた同期の会でも、彼の話ぶりと大きな笑い声は、学生時代と少しも変わつていなかつた。昭和62年秋の同窓会は、彼のお世話で広島の料亭「新月」で開催。夫人同伴も多く、久しぶりの盛会だつたことを思い出す。

2. 自動車

車が走つているが排気ガスは出ていない。音も静かで街の空気が澄んでいる。これは当然だ。車の動力がガソリンやディーゼルエンジンから、排気ガスの出ない燃料電池へ転換してから、もう一世紀近くになるのだから。

ところで街に信号らしきものが見当らない!

今は信号コントロールセンタからの無線信号を、車に積載された受信機が受信し交通整理がされる。通勤手段はどうと、マイカー通勤は省エネの観点からすでにかなり、20~30人乗りの小形の燃料電池バスが住宅のすぐ近くまでやつて来る。接近するに従つて自宅に合図のチャイムが鳴るので、それから出でていけば十分だ。

20世紀に開発されたPHSの流れをくむ技術が支えていくんだ。そこで、このシステムは50年以上も交通事故が起きていない。ところで、このシステムはセンサー技術の進歩によつて、も

う50年以上も交通事故が起きていない。そこで、このシステムはセンサー技術の進歩によつて、も

かべながら、実り多い人生を全うした彼に、重ねて敬愛の意を表し、心からご冥福をお祈りするばかりである。

合掌

22世紀からのメール(I)

佐々木隆雄(昭47年卒)

1. 初日の出

どこからともなく鐘の音が聞えてくる。カーテンの隙間から柔らかな光がはいり込み、地球は22世紀の初日の出を無事に迎えることができたようだ。

午前7時すぎ。元旦の朝を散歩してみるとことにする。

3. スーパーIPHS

路地という路地の地表下に光ファイバー網が張り巡らされている。そのところどころに、PHSの流れをくむ、スーパーIPHSの通信基地局が埋め込まれている。昔は電柱の頂上等に設置していたが、今では都市部では電柱が地中化され、基地局も地表下に網の目のように埋めこまれている。基地局を地面に埋め込むというのは逆転の発想から出たもので、感度は低下するが、PHSのように数多くの基地局を設置する方式では、それほどハンディとはならない。

光ファイバーが工場・事務所・家庭用などに対しても、スーパーIPHSは自動車と歩行者用の情報通信を受け持つ。中国電力グループは光ファイバー網とスーパーIPHSの設置・運用を、エネルギーと共に事業の柱としているんだ。なぜPHSの流れをくむ方式が生き残っているのかというと、エネルギーと同じように、電波の世界でも必要最小限な量だけを供給する

L

E A V E F O R 3 0 0 0 の
目的にかなうからなんだ。世界は
今「通信フリー」の状況となつて
いて、100億人を超える人々と、そ
の約半数の自動車が通信ニーズを
持つてるので、街中電波だらけ
に従い、正しく電波を使わない、と
せつかくの I T によるメリットを
享受できなくなつてしまふ。省工
ネや省資源と同じように、電波の
世界でも省電波、つまり不需要に
強い電波でなく、最小限の電波を
利用する事が不可欠なんだ。か
つて P H S は携帯電話の数十分の
一の弱い電波で、音質の良い通話
ができるというのが特長だったた
ね。スーパー P H S は、多くの基
地局からのごく弱い電波で通信を
営むという、P H S のこのすぐれ
た伝統を活かして今でも活躍して
いるんだ。

国々が一致協力して他の国々のIT化を支援し、今では地球上をくまなく網の目のように光ファイバートと無線とが覆っている。それと、いうのもIT化は一部の人たちや、一部の国々で展開しても大してメリットがないからなんだ。世界中の国々、世界中の人々にITが行き渡つてはじめてみんながそのメリットを享受することができる。なぜかと、いうと世界の国々には、その国にしかないすぐれた情報が一杯ある。だから一部の国だけのIT化では、限られた情報しか得ることができない。それにITの整っていない国があると、貿易など商取引に際して、お互いにひどく不便な思いをすることになる。というわけで、IT先進国といわれた国々も自分たちだけではなく、世界の隅々までIT化が進展するよう努力したんだ。

一方IT化は思わぬ結果も持たらした。かつて情報の時間差で利潤を生み出す金融技術なるものが、幅をきかし、この技術如何によつては会社や国の経営や収支までも左右されるようなことがあつたね。だがIT化が地球規模で進展した現代では、情報は驚くほど早く全世界に伝わる。このため情報取得の時間差を利用して利益を得る機会はほとんどなくなつてしまつた。情報の同時共有化が進んだことが、富の分配の極端な偏りをなくし、「抜駆け」の少ない世界を実現した。ITは情報の豊富さと公平さにより、人々の心を豊か

4. IT化の予期せぬ結果

LEAVE FOR 300

4. IT化の予期せぬ結果
「LEAVE FOR 3000」の意味を説明する前にもう少し経過を説明しておこう。21世紀初めにIT革命があつた。世界にIT化が進行し始めたとき、「デジタルデバイド」が起きるのではないかと心配された。IT化により、世界の国々のあいだで、ますます情報や経済面で格差が広がるのではないかと懸念されたんだ。ところが予想に反して、デジタルデバイドは起きなかつた。それどころか、ITの先進国といわれた

一方 I.T.化は思われぬ結果も持たらした。かつて情報の時間差で利潤を生み出す金融技術なるものが幅をきかし、この技術如何によつては会社や国の経営や收支までも左右されるようなことがあつたね。だが I.T.化が地球規模で進展した現代では、情報は驚くほど早く全世界に伝わる。このため情報取得の時間差を利用して利益を得る機会はほとんどなくなつてしまつた。情報の同時共有化が進んだことが、富の分配の極端な偏りをなくし、「抜駆け」の少ない世界を実現した。I.T.は情報の豊富さと公平さにより、人々の心を豊か

5. IT化のもうひとつの產物

5. **IT化のもうひとつの中物**
それからもう一つ特筆すべきことがある。今では武力による戦争がなくなつたんだ。ミサイルなどによる戦争が始まる前に、コンピュータと通信技術によるソフト戦が進行し、これにより一方の国による通信・経済・金融などのネットワークが影響を受ける。つまり武力を行使する前に決着がついてしまうことになつた。これは日本のゲームソフトメーカーが、ソフト戦の審判をつとめることで、行司ソフトを開発したことが大きい。実際にネットワークが麻痺してしまう前に、行司ソフトにより軍配が上がるから負けた方にも実害はない。勝った方も大らかなもので、賠償を要求したりはしない。ソフト戦を制するだけでその国にとつて大変な名誉になるので、それだけで満足するんだ。もつとも今ではどの国もその無意味さを悟り、たとえソフト戦といえども戦争を起すことはなくなつてしまつた。そのため20世紀のように金のかかる武器はつくる必要がなくなり、莫大な軍事費が不要となつた。この軍事費の大部分が、ITへの取組みの遅れていた諸国への援助に使われたんだ。というわけで、ここ50年ばかり世界は戦争もなく、人々は等しくIT化の

6. エネルギーシミュレーション

ところがある日、中国地方の町でゲームソフトを楽しんでいた学生のゲームの結果から、地球の将来に対し黄信号が点灯することとなつた。そのゲームソフトは「エネルギー・シミュレーションゲーム」といつて、世界のエネルギー政策をシミュレーションしながら楽しめるものだつた。今ではゲームソフトも様々な分野のものがつくられていて、学校の授業にも使われている。会社の経営ゲームをはじめ、国の政策ゲーム、地球環境シミュレーションゲームなど高度なものまで出回つてゐる。

彼が設定した条件は「天然ガス田の新規発見が終焉する」というややマニアックなものだつた。彼は21世紀後半、化石燃料で初めて石油の枯渇が間近に迫つたことに、燃料としての使用が禁止され、その需要が石炭や天然ガスにシフトしたため、次のひつ迫燃料候補である天然ガスのことが気にかかつっていた。彼はゲームの中であらゆる手段を試みた。天然ガスの、燃料としての使用禁止や、壁ある唯一の化石燃料である石炭の利用制限、原子力発電におけるブレーカーマル方式の大増加、地球規模での省エネの強化等々。しかしながら、どんなに策をえても無駄だつた。

エネルギー価格の急上昇→世界の基幹産業の崩壊→30年以上続いた

恩典を受け、平和で充実した生活をエンジョイしていたんだ。

産業革命以降の社会基盤が失われ
る、という結果になつてしまふん

だ。彼は身震いがした。「このままでは本当にゲームの結果どおりの運命となるかもしれない」。彼は仲間の学生や先生にこの結果を伝えられた。先生は言つた。「そのシミュレーションはゲームソフトになる以前に、実際に研究されて学会で発表されていたよ」。彼は驚いた。「ではなぜ、危機に備えてすぐ手を打たないのですか」。先生は答えた。「エネルギーの現状を理解している人は、将来資源が尽きてしまうということは認識している。だが、それは今すぐではない、少なくとも自分達が生きているあいだは丈夫だろうと思っている。それに問題が大きすぎて、どうしていいか見当もつかないんだ」。学生は思つた。「このままではいけない。なんとかしなければ」。

ね、エネルギー問題に関する詳しい資料を入手し、学友達と勉強会を行い、ディスカッションの輪を広げていった。中国電力は、若い世代がエネルギー問題に関心を持つのは大変有意義なことだと、多くの情報や資料を提供し、彼らの學習に協力した。そのうち学生達が「これは地球の将来を左右する問題だ。世界中の学生代表を広島に集めよう」と言い出した。そこで広島市の国際会議場で「地球の未来のための世界学生会議」が開催された。(次号につづく)

ワシントンDCに赴任して

本田 大輔（平7年卒）

私が勤める企業の知的財産権部門からワシントンDCにある法律事務所に赴任して2年が経とうとしている。今回投稿の依頼を受け何を書こうか迷っていたが、(1)米国と日本での特許事情、(2)米国における歴史的事件との関わり、について日本を離れて初めて得られた感覚をもつて拙筆ながら綴らせていただいた。

特許というと最近は日本でも小泉内閣が産業競争力低下懸念の観点から知的財産戦略会議を設ける等その重要性が認識されてきている。それでも日本は世界で最も特殊な特許制度をもつことでも有名である米国に国家レベルの特許戦略において大きく水をあけられていると言わざるを得ない。米国と日本企業との争い（特許訴訟）としては、一部メーカーの間では忌わしい記憶であるレメルソン事件（1992）が有名であろう。米国の個人発明家に日本の自動車・電機メーカーらが総額1億ドルの和解金を払った事件であり、小説「驚の驕り」の題材にもなった。

ところで特許がメーカーにとつてのものだけだった時代も終わつた。米国で端を発したビジネスモデル特許の台頭（当初は主にEコマースに対してであった）を皮切りに、銀行・証券などの金融業界

にまで知的財産部の設置が急務となる等広く認識されるようになつた。尚、最近ではTLO（大学技術移転）による知的創造サイクルの構築も脚光を浴びているもの、大学での成果の産業的な有効利用という点では日本は未だ米国の比ではない。

（省略）

しかし一方で、米国での実情を現地現物で見ている限り、商務省や司法省をはじめとする米国政府は今までのプロパテント（特許重視）政策からアンチパテント政策へ再び傾倒している感が否めない。かつてはゴルフのパッティング方法までもが特許されたものが、ビジネスモデル特許ブームも下火のようだ（ネットバブル崩壊も影響しているのか？）。そもそも

も独占を認める特許制度は独占禁止法とは相対する位置にあるが、

「犬も歩けば弁護士に」というように非常に弁護士数が多い。何か

とモ言われていた。

さて赴任して2年、2001年は同時多発テロ、2002年は首都近郊無差別連続銃撃事件と物騒な事件の渦中にいたがその時の様子を紹介したいと思う。私の住居はペンタゴン（国防総省）の南500mに位置するアパートで当日9月11日朝は自宅にいた。日本の友人からの電話でNYの事件を知り、テレビをつけ、「これは大変なことになつた」と食い入るようにCNNニュースを見ていたところ、窓

外から今までに聞いたことのないこともったような爆音が聞こえてきた。その時点ではまさか我が家はバルコニーを通して焼け焦げた

ところには注意が必要だ。

（省略）

面白いことは特許は必ずしも高度な技術によるものが金になるわけではないということである。では

つことには注意が必要だ。

（省略）

（省略）

ニューステロップが入り慌てて屋上に上がりペントガス方面を見る。と煙が立ち上つていて。その後しばらくは行方不明の旅客機が数機あるとの情報が錯綜し、4機目のパンシルベニアへの墜落確認まで私は住居には緊急避難命令が出された。（実際、4機目はホワイトハウスを目標としていたそうだ。）

しかしその時点では家内が英会話学校に出かけており、私が自宅を離散してしまった可能性があると思いつつも、意を決して6Fの自室で待機することとした（当然Eメール以外の全ての連絡手段はパンク、また緊急時に対応できるほど英語が堪能であつたわけではないため、情報収集手段として日本語の速報ニュースサイトが大きく頼りになりました。事件後しばらくは私の住居の周りは戒厳令下の名にふさわしく、物々しい警備と上空を飛び回る軍用機の音のみが聞こえる不気味な夜が続いた。風向きによつてはバルコニーを通して焼け焦げた匂いが漂ってきた。

また航空機テロに続く炭素菌騒動では、ホワイトハウスの1ブロック東に位置する私のオフィス宛

うなイメージがなかろうか?これはやはり敗戦国であるか否かだけの違いなのであらうか?

とにもかくにも人種の増殖と言われる米国に生活してみて初めて自分のナショナリティというものがどれほど意味をもつかを知り、自分が今までまわりの日本人の中における個性のみを意識しており、「日本人」としての自分というものをいかに軽視していたか、ということを恥じたのも事実である。

テレビ50年と番組保存

滝沢 修 (昭60年卒)

今年は、我が国でテレビの本放送が始まって50年となる節目の年です。テレビは日常生活に欠かせないものとなり、本会会員の中にも、テレビ業界やAV機器メーカーにお勤めの方が多いと思います。皆さん、過去のテレビ番組の録画テープ(あるいはフィルム)が、制作局にどれくらい保存されているものなのか、お考えになつたことはあるでしょうか。実は스타ジオ制作番組に限ると、一九七〇年代以前の分については、保存されているのが極めて少ないのが実態なのです。一九七〇年代までは、放送用ビデオテープは高価であり、録画と消去を繰り返して使用するのが一般的でした。それに加えて、放送事業者であっても録画を6ヶ月以上保存するには「公

的記録保存所」を見学したいと申し出たのですが、「ただの倉庫だよ」と軽くいなされて相手にされませんでした。当時のテレビ制作者は、番組保存についての意識がまだ高くなかったことがうかがえます。またフジテレビが局舎を台場に移転した際に、映画シリーズ化される前のテレビドラマ版「男はつらいよ」(一九六八年放送)を始め、多くの番組テープを保存用でも、ソニーがベータ方式のビデオデッキを世に出した一九七五年(ホームビデオ元年と呼ばれます)までは、機器もテープも高価で、一般庶民が録画を保存することはままなりませんでした。

テレビ番組は、その時代を最もよく反映している記録であり、名番組に限らず、あらゆる番組を網羅的に残し、後世に伝えていくべきだつたと考えられます。風俗や言葉づかいの変遷をたどるにも、断片的でなく網羅的な保存継承がなされていて、初めて定量的な検証ができるのです。

私がテレビ番組の保存問題に心を持つたのは約20年前の学生時代で、テレビが30周年を迎えた頃でした。3回生の春休みに、東京の某民放キー局に3週間ほど滞在しました。私はその機会に、同局の関係者に番組遺産の発掘、整理、継続技術研修を受けたことがあります。私は縮刷版があります。しかし新聞には縮刷版については、収集保存の努力が近年までほとんどなされていなかつたのです。失われた文化遺産は取り返しがつきません。テープが高価だったとしても、たとえば公的な資金の投入による網羅的な保存は可能だつたはずで、なぜ早くから取り組まれなかつたのか、つくづく悔やまれます。

しかしながら、僅かな希望も残されています。放送事業者があってならないのであれば、草の根を分けた視聴者から探し出す手段があります。一九七〇年代以前の番組を、当時は高価だった家庭用VTRで録画保存している人が少数ながらいました。そのテープは現状では再生機にはかかるこどももあり(第44条の3)、録画は積極的に消去・廃棄する方針になつていました。まさに放送とは「送りつ放し」だったのです。また家庭用でも、ソニーがベータ方式のビデオデッキを世に出した一九七五年(ホームビデオ元年と呼ばれます)までは、機器もテープも高価で、一般庶民が録画を保存することはままなりませんでした。

テレビ番組は、その時代を最もよく反映している記録であり、名番組に限らず、あらゆる番組を網羅的に残し、後世に伝えていくべきだつたと考えられます。風俗や言葉づかいの変遷をたどるにも、断片的でなく網羅的な保存継承がなされていて、初めて定量的な検証ができるのです。

私がテレビ番組の保存問題に心を持つたのは約20年前の学生時代で、テレビが30周年を迎えた頃でした。3回生の春休みに、東京の某民放キー局に3週間ほど滞在しました。私はその機会に、同局の関係者に番組遺産の発掘、整理、継続技術研修を受けたことがあります。私は縮刷版があります。しかし新聞には縮刷版については、収集保存の努力が近年までほとんどなされていなかつたのです。失われた文化遺産は取り返しがつきません。テープが高価だったとしても、たとえば公的な資金の投入による網羅的な保存は可能だつたはずで、なぜ早くから取り組まれなかつたのか、つくづく悔やまれます。

しかしながら、僅かな希望も残っています。放送事業者があってならないのであれば、草の根を分けた視聴者から探し出す手段があります。一九七〇年代以前の番組を、当時は高価だった家庭用VTRで録画保存している人が少数ながらいました。そのテープは現状では再生機にはかかるこどももあり(第44条の3)、録画は積極的に消去・廃棄する方針になつていました。まさに放送とは「送りつ放し」だったのです。また家庭用でも、ソニーがベータ方式のビデオデッキを世に出した一九七五年(ホームビデオ元年と呼ばれます)までは、機器もテープも高価で、一般庶民が録画を保存することはままなりませんでした。

このように活動の成果の一つとして、NHKで一九七二年に放送された少年ドラマシリーズ「タイムトラベラー」の発掘があります。このドラマは放送当時からマニアには現存しない作品のため、これまでにも録画が発見されたといいます。

このような活動の成果の一つとして、NHKで一九七二年に放送された少年ドラマシリーズ「タイムトラベラー」の発掘があります。このドラマは放送当時からマニアには現存しない作品のため、これまでにも録画が発見されたといいます。

テレビ50年の今年は、過去の番組を振り返る機会が多いことでしょう。その陰に、消え去つた二度と見ることのできない番組が多くあります。そして、もしもしたら皆さんのご家庭の押し入れに眠っている録画テープが、制作局にも残っていない貴重な番組を記録しているかもしれません。

テレビ50年の今年は、過去の番組を振り返る機会が多いことでしょう。その陰に、消え去つた二度と見ることのできない番組が多くあります。そして、もしもしたら皆さんのご家庭の押し入れに眠っている録画テープが、制作局にも残っていない貴重な番組を記録しているかもしれません。

身近な未知の世界の実現に向かつて

松田 文志 (平4年卒)

平成4年3月に電気工学科を卒業し、その年の4月に東海旅客鉄道株式会社(JR東海)に入社しました。鉄道マニアではありませんでしたが、幼い頃から旅行が好きで、小学生の頃に国鉄全線に乗車したことがあります。放送事業者があってならないのであれば、草の根を分けた視聴者から探し出す手段があります。一九七〇年代以前の番組を、当時は高価だった家庭用VTRで録画保存している人が少数ながらいました。そのテープは現状では再生機にはかかるこどももあり(第44条の3)、録画は積極的に消去・廃棄する方針になつていました。まさに放送とは「送りつ放し」だったのです。また家庭用でも、ソニーがベータ方式のビデオデッキを世に出した一九七五年(ホームビデオ元年と呼ばれます)までは、機器もテープも高価で、一般庶民が録画を保存することはままなりませんでした。

平成15年1月1日

東京支部旅行会報告



ら一路那珂湊方面へ。車中では同乗のプロ女性歌手による歌謡ショーガスタート。美空ひばりの唄をはじめ、往年の懐かしいメロディを一緒に口ずさみながら美声を堪能しました。途中から日光江戸村所属のプロの役者も同乗。バスの前席は特別にスペースが確保されおり、そこで一人芝居ができるようになっています。今回の出し物は国定忠治。車中の私達に、掛け声をユーモアたっぷりに指導。「親分!」「御用だ!御用だ!」と、いう掛け声が、笑い声とともに車内にこだました。ずいぶん掛け声が紳士的だ、という役者の評には皆、苦笑い。

テルの名前の由来は、アンモナイトなど中生代白亜紀の化石が見つかることから来ているとのこと。昼食会場は太平洋が一望できる素晴らしい眺望が楽しめる個室。今回参加者では一番のご先輩に始まる林様（昭10年卒）の乾杯に始まり、新鮮な魚貝類を使った料理を楽しんだ後は、温泉大浴場や7月にオープンしたばかりの露天風呂でゆったりくつろぎました。

江戸文化村から東京駅へ

心地よいバスの揺れと満腹感で眠気を誘われつつ、最後の見学地である江戸文化村に到着。江戸の町並みをバックに集合写真を撮つた後、自由に村内を散策。江戸を戻りました。途中、三高寮歌「逍遙の歌」を全員で大合唱。最後に、参加者の太田様（昭24年卒）が持参されたTV番組「なんでも鑑定団」の収録ビデオで、秘蔵品鑑定の場面を皆で楽しみ、予定通り18時過ぎに東京駅で解散いたしました。

ご参加頂きました皆様、ありがとうございました。また今回は大新東株式会社観光部の皆様のご協力をにより、新しい趣向のバス旅行を企画できました。ありがとうございました。今後とも楽しいイベント

本部役員並びに各支部長様また
は代理の方のご出席をご用意願い

日時 平成15年2月1日（土）
場所 午後2時30分より
京都タワー ホテル会議室
詳細は追ってご案内いたします

(会員登録の手順)

平成14年度も残り少くなりました。昨年12月現在の納付率は例年どおり低迷しております。

会員登録には新年より可から

会員皆様方にご多忙のことと思いますが、本年度分会費未納のお方は会報同封の振込み用紙にてご協力を願い申し上げます。

○会員名簿の発行のお知らせ
平成15年秋には会員名簿の改訂を予定しています。

会員の皆様に異動事項がある方は、名簿の「綴込みハガキ」に変更事項をご記入の上、事務局までお知らせ願います。

事務局だより

を企画いたしますのでよろしくお願
いします。

新年お目出度うございます。会員ご一同様のご多幸とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

編集後記

講 計 報									
講	昭	2	井	上	嘉	三	宇	野	茂
講	昭	9	星	潮	見	公	野	野	道
昭	27	田	加	井	安	一	井	井	道
名	41	本	谷	藤	金	夫	上	上	上
純		也	健	勝			嘉	嘉	嘉
要		也	一	勝			三	三	三
13	14	14	14	14	13	14	13	14	14
.
12	8	10	10	.	12	12	12	10	.
.
7	28	23	7	4	4	4	24	9	9